

会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 26 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

会 派 名 日本共産党高島市議団
高島市議会議員 10 番 森脇 徹

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2) 発 言 事 項	大型事業は市民本位に見直し、経済危機打開を図れ
要旨（項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。）	
今城市政は、所信表明で財政の危機的状況を市民や議会に表明した。市長就任後、前市政からの継続事業や計画が目白押しの中、今城市長が考える事業の見直しは出来ているか。ご自身の公約と見直しが、市民に見合える形で提示されるか、以下伺う。 1、 前市政において計画された継続事業として、新環境センター計画事業やマキノ地域小学校統廃合・新築事業、マキノ産業用地事業および安曇川田中地域150畝の圃場整備事業など、これら一定の財源が定まっている大型事業に加え、地域交通システムの維持など財源が厳しい中、市民の利便と安心を確保しながらどのように市民の合意を得ていくのか。議会にも	

市民にも見通せる長期財政計画の抜本見直しが必須ではないか。

政策調整により磨きをかけ、職員の英知と市民協働で財政的な厳しさを乗り越えていく、そうした今城市長ご自身の姿勢を市民は注視している。

そうした市民の期待に、どう応えるのか、伺う。

- 2、 その点で市民の期待に応え、市民の市政への協力を得るためにも、負の課題を解決することが必須だ。この点で「いちご補助金3億7375万円の徹底回収と事実解明の公約実現は避けて通れない。市長として、現在の局面と今後の打開策を伺う。